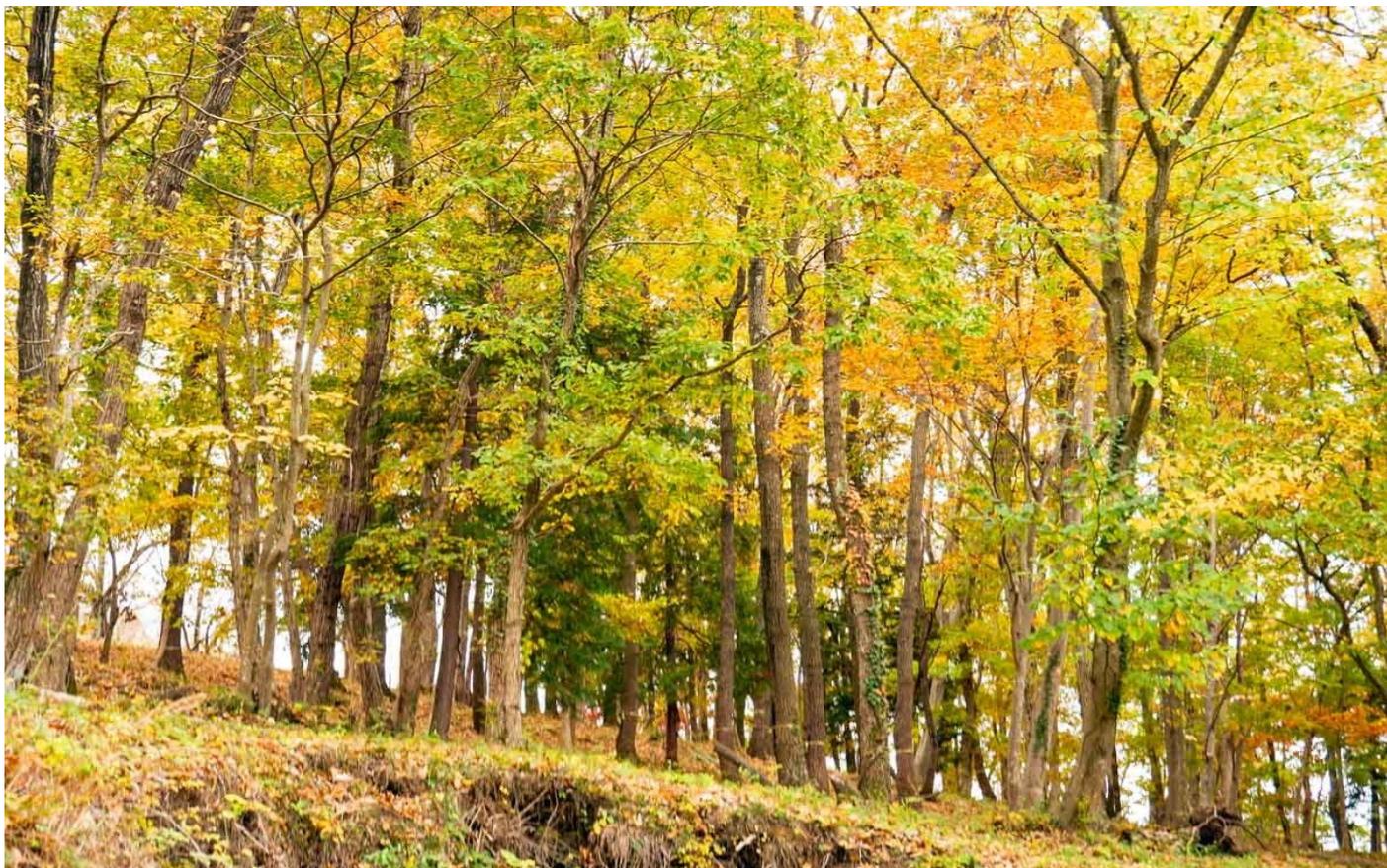


# 丹沢ボラネット瓦版

2026年3月号 No.125号



秦野市弘法山 コナラを主にする里山の晩秋風景 25.11.29

## 2025年度 丹沢大山自然再生活動報告会 参加報告

2026年2月15日

丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会

### 1 2025年度のテーマ

#### **「生物多様性保全」**てつながる**地域内連携** ～ネイチャーポジティブ時代の里山再生～

昨年度は秦野市や環境団体と連携し取り組みました。今年度は厚木市や神奈川県、NPO法人神奈川県自然保護協会等環境団体と連携をして行いました。

厚木市では、ネイチャーポジティブ実現に向けて生物多様性保全に力を入れており、企業や市民団体と一緒に精力的に環境問題へ取り組んでいます。再生会議はこれらの活動と連携を強め、官民共同での地域発展や環境人材育成へ繋なぎました。

その結果、実のある良い成果が得られました。毎年毎年、丹沢大山自然再生活動報告会  
は創意工夫が有り、成果を出して来た事を実感できました。

人も自然も  
いきいき 丹沢

2025年度 丹沢大山自然再生活動報告会  
公開シンポジウム

参加  
無料

どうする里山!?

「生物多様性保全」  
でつながる  
地域内連携

～ネイチャーポジティブ時代の里山再生～

テーマに関心のある方なら  
どなたでも  
参加OK!

2026  
2/15 日  
13:00 ~ 16:00  
[ 12:30受付開始 ]

会場 アミューあつぎ (厚木市中町2丁目12-15)  
7階 ミュージックルーム 2

会場定員 60名 予定 (申込み必須)  
\* 対面参加の希望者多数の場合、  
オンライン参加をお願いする可能性があります。

オンライン参加 定員制限なし (Zoom配信・申込み必須)

### 第1部 13:00~

#### 基調講演



(公財)日本自然保護協会 理事長 / 東京農工大学 名誉教授

土屋俊幸氏

「生物多様性保全の動向と  
自然のちからを活かした地域づくり」

#### 話題提供



麻布大学 生命・環境学部環境科学科 教授

村山史世氏

「iNaturalistで生き物観察を  
グローバルな生物多様性情報に！」

### 第2部 14:25~

#### パネル発表・ディスカッション

モデレーター 秋山 幸也 委員

パネリスト (6名)

厚木市環境政策課

土屋 俊幸 氏

アンリツ株式会社

村山 史世 氏

一般社団法人 森里

糸長 浩司 委員

↑ 写真 見やすく興味を引く内容のポスター



丹沢大山自然再生報告会の様子

2 第1部 13:00～

(1) 丹沢大山自然再生委員会 委員長の勝山 輝男 氏の挨拶がありました。

→写真  
勝山会長挨拶の様子



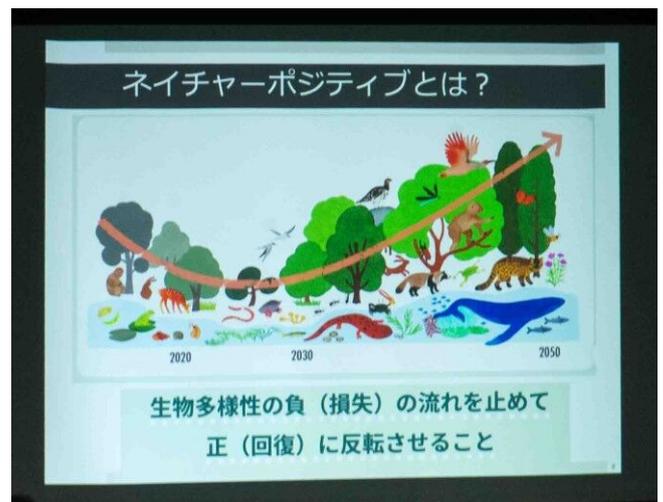
(2) 厚木市長 山口 貴裕 氏の挨拶がありました。

(3) 基調講演 土屋 俊幸 氏の話

- ① ネイチャーポジティブとはどのようなことか？  
 生物多様性損失の流れを止め、回復の流れに  
 することである。そのためには、自然が持っている回復機能を利用し、多様な自然課題、社会  
 課題の解決につなげる、持続可能な社会の考えが大切になってきています。



↑写真 土屋氏の講演の様子



↑写真 説明スライド

次に「生物多様性に関する世界の動向、日本の動向」、ネイチャーポジティブに関する世界の動向、日本の動向」等について話されました。

② OECM, 30by30、自然共生サイト、NbS (Nature-based Solution)、等の内容や

取り組みの動向の話が有りました。

#### (4) 話題提供 村山 史世 氏の話

##### 「iNaturalistで生き物観察をグローバルな生物多様性情報に！」

とのタイトルで話題の提供をしていただきました。

目的は地域住民が収集した生物多様性情報を世界の人々と共有することです。

オカレンスデータとはある種が特定の場所・日時に発生した証拠となる資料を観察者名と共に記録したものを言う。今までは大調査等で多大な金銭や多人数をかけていたがiNaturalist等のようにデジタルプラットフォーム利用する事で解決が出来ました。生物多様性情報のオープンデータを皆で共有することが出来るようになりました。

そのためには非営利団体が運営し無料が大切です。

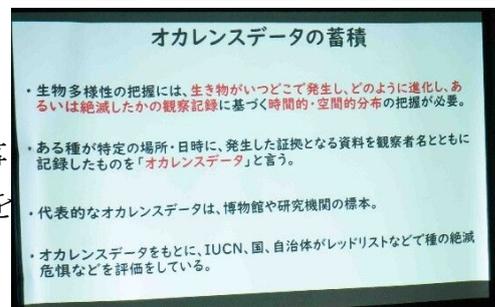


写真 村山氏の話提供の様子とスライド

### 3 第2部 14:25

#### (1) パネルディスカッション

モデレーター 丹沢大山自然再生委員会 事業計画・評価専門委員長 秋山 幸也 氏

#### パネリスト取り組み紹介

→写真

#### 厚木市環境政策課 石原 竜 氏の発表様子

厚木市の ①生物多様性あつぎ戦略の改訂 ②ネイチャーポジティブへの取組 ③包括連携協定による取組等や今後の予定について発表されました。

- 生物多様性を市民に分かりやすく伝えるため「みんなの生物多様性」冊子に工夫をした。写真を多くし、漢字にルビを振り小学生でも読めるようにしました。
- その他ネイチャーポジティブ宣言、自然体験講座東京農業大学と連携し体験講座、外来種駆除、あつぎ環境フェア等へ取り組みました。

→写真

#### 厚木市連携体験講座の様子

→写真

#### アンリツ株式会社 阿部 まゆ子 氏の発表様子

アンリツ株式会社の ①会社紹介 ②丹沢大山自然再生活動への参加 ③生物多様性への取組等について発表されました。

- 丹沢大山で植樹活動を行っている。アンリツの従業員とその家族がボランティアとして参加してこれまでに500本以上の苗木を植えました。



→写真

### 一般社団法人森里 小林 夏子氏の発表様子

一般社団法人「森里」の①普及啓発活動②自然環境の再生保全活動③調査・研究等について発表されました。

- ・自然環境に関する講習会や環境教育教材製作を行った。
- ・環境調査後の自然や生き物の暮らしに配慮して草原、樹木、水源環境の整備を行なっている。
- ・時間軸を大切にして鳥類標識調査を行っている。



### (2) パネルリストおよび参加者による意見の交換

今回は会場参加及びオンライン参加併用のハイブリッド開催なので会場とオンライン参加で活発な討論が交わされました。

若い人たちも多く参加し、中学生まで質疑討論に加わっていました。このように異年齢の世代が全体討論に参加している事により会場は賑わい明るくなった。課題の人材育成にも役割を果たしていました。

→写真 総合討論の様子



全体として毎年工夫があり地域との官民連携があり、繋がりが深化しています。その中で地域の環境教育や人材育成等で丹沢大山自然再生会議が発展している様子が実感できました。大会を運営された皆様方、お疲れ様でした。

## 丹沢大山ボランティアネットワーク団体からの投稿

季節を変えて歩く、菰釣山～シキリ尾根～世附

Tanzawa Ecology School 奥津岳

昨年の春にシキリ尾根を歩いたことを掲載していただきましたが、昨年 11 月に「季節を変えて」再び歩いてきました。その時の手記を瓦版用には書きました。

コース 山中湖・平野→甲相国境尾根→菰釣山→シキリ尾根→忍橋林道  
→地蔵平→大又沢林道→浅瀬橋→世附 (一泊二日)

2025 年 11 月、晩秋の西丹沢を一泊二日で縦走してきました。

2025 年の春、菰釣山からシキリ尾根を下った際、美しい森に深く癒やされ、「季節を変えてまた歩きたい」と感じました。その時の手記は瓦版 122 号に掲載していただきました。今回は、その思いを胸に、半年ぶりの再訪となりました。

ブナの黄葉には少し遅いものの、丹沢湖方面の紅葉を期待しての計画でした。山中湖・平野から入山し、甲相国境尾根の小ピークを越えて菰釣山へ。

初日は雲が多く、富士山はほとんど姿を見せてくれませんでした。翌朝、その分のご褒美が待っていました。

→写真

御来光で菰釣山も富士山も  
紅く染まります。(モルゲンロート)

早朝、菰釣山山頂に立つと、目の前には雲一つない空の下に雄大な富士山！山中湖には白い霧がたなびき、朝日に染まる富士の姿は厳か。少しずつ変わっていく色合いを眺めながら、しばし佇んでいました。

その後下ったシキリ尾根は、人影のない静かな美林。落ち葉を踏みしめる音だけが響く晩秋の森は、春とはまた違った表情を見せてくれました。



↑写真 サクサクと落ち葉を踏みしめながらシキリ尾根を歩きました。



↑写真 地蔵平付近の林道は、まるで紅葉・黄葉のトンネルのようでした。

忍橋林道に下り立ち、地蔵平を経て、大又沢林道へ。辺りはまさに紅葉と黄葉の最盛期でした。西丹沢の奥深い場所で、静かな秋を味わいながら丹沢湖まで歩きました。



写真 地蔵平周辺は過去に何度か訪れた  
ことがありますが、これほどの紅葉  
・黄葉を見るのは初めてでした。

↑写真 大又沢の清流の上で、黄金の葉  
が風に吹かれて揺れていました。

同じルートでも、季節が変わると景色も、感じ方も大きく変わりますね。丹沢の懐の深さを、改めて実感した山行でした。

## 「先人が歩いた旧ヤビツ道・旧ヤビツ峠探訪記」 その1 (叢毛～県道70号線まで)

丹沢環境推進会議 ナチュラル丹沢

2026.1.24(土)旧ヤビツ道探訪へ  
へ行ってきました。

旧ヤビツ峠は第8鉄塔と第9鉄塔の間、  
付近にあります。その間の沢が崩壊  
していて通行が困難です。新ヤビツ峠  
より、ひと山を登り西側(第9鉄塔付近)  
にあります。

→写真  
表尾根の案内

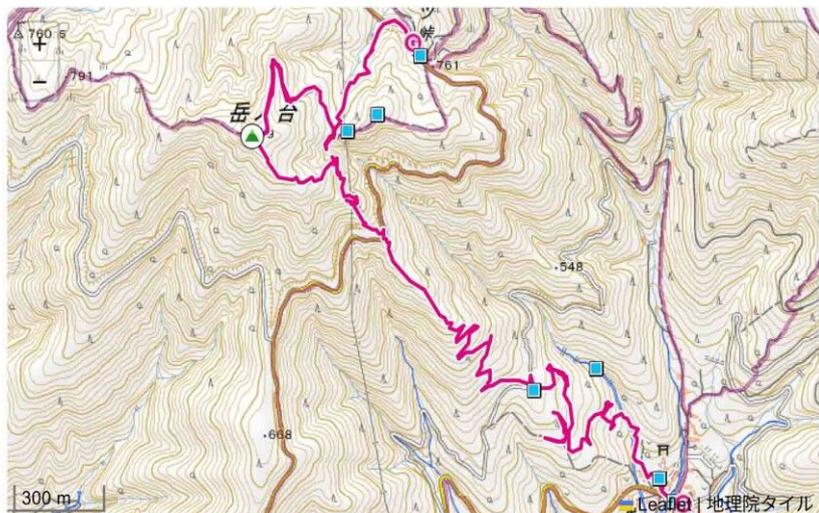


今回の探訪記のコース

叢毛(大日堂)～石祠～県道70号線  
～新多摩線 NO8 鉄塔～岳ノ台～  
旧ヤビツ峠(新多摩線 NO9 鉄塔傍)  
～県道70号線～新ヤビツ峠

→地図の赤線が今回の旧ヤビツ道を  
探してたどった跡の経路です。

→写真  
旧ヤビツ道を探しながら歩いた足跡の  
ロードマップ(Tes奥津氏の承諾済み)



大日堂裏の西側から入り棚ヶ入沢(川)東岸を登り、  
橋の有るところで西岸に渡ります。

→写真  
叢毛に有る法連寺の大日堂

次は地図には載ってないがイガイガさんの記録に  
よると石祠があるので探しました。川から20mぐらい  
登ったところで探し当てました。大山祇神社の石祠で



す。まさしく旧ヤビツ道を探し当て安心しました。

→写真 石祠(大山祇神社)

探し出した旧ヤビツ道を登っていくと広い作業道にぶつかり、消えました。ここから先は尾根沿いに広い植林に開拓され、周囲がシカ柵で囲まれ作業道が走っています。

旧ヤビツ道は植林開拓により分断され消えているところが多くあります。旧ヤビツ道は尾根に沿いながらジグザクに曲がり、登っていると思われます。尾根をまっすぐ登れば簡単ですが先人の歩いた旧道の発見が目的ですから、苦勞して探しながら歩きました。

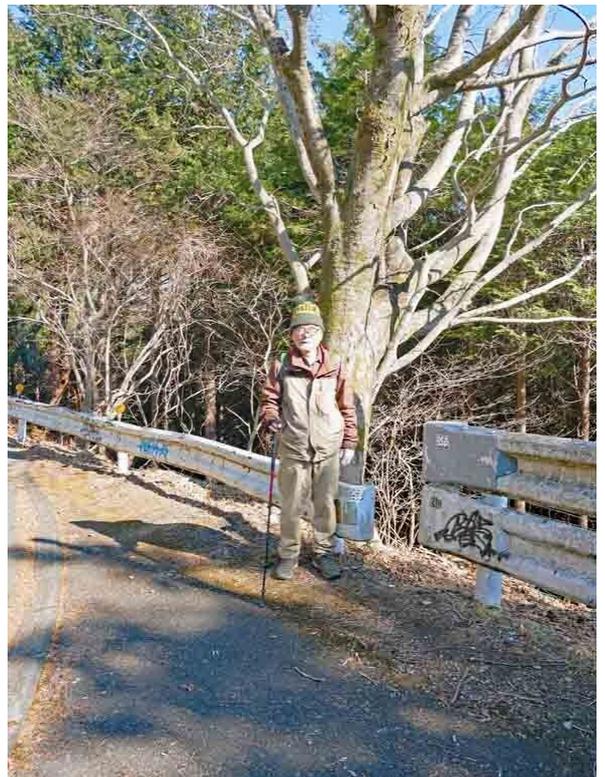
→写真 広い作業道路とシカ柵で囲まれた植林



↑写真 県道70号線へと続く尾根に沿い壊れた使われない金網のシカ柵が続いている

→写真 県道70号線への出口

↓写真 県道70号線への出口から鉄塔No9(旧ヤビツ峠付近)が見える



金網の古い柵に沿い、狭い尾根を急登すれば間もなく70号線です。以前は粗大ゴミ等の不法投棄が目についたと聞いたが、今回は県民の努力により余り見られなかった。

ここまでは曲がりなりに旧ヤビツ道跡を探しながら70号線までやっと歩くことが出来ました。次号で後半編の「県道70号線～旧ヤビツ峠～県道70号線」案内をします。

この原稿を書くに当たりイガイガ様、奥津様等の資料を参考にしました。感謝いたします。

丹沢ボラネット瓦版2026年3月号(通巻125号)3月5日発行  
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五

## Ⅱ 会員団体活動掲示板

団体名称	神奈川県勤労者山岳連盟
	<p>神奈川県勤労者山岳連盟は国民の登山要求の高まりの中で、「安く、楽しく、安全に」を合言葉に 1968 年に結成し、半世紀を越えた。登山が自然をフィールドとするスポーツである以上、常に自然との共生や遭難事故防止の課題を伴っている。私たちは自らの登山技術や知識を高め、仲間を迎え入れ、登山活動の一層の充実と発展を図る。また、1991 年に自然保護委員会を設立し、丹沢をはじめとする自然保護活動にも力を尽くしてきている。</p> <p>【設立年月日】 1968 年</p>
団体情報	<p>【代表者】 渡辺 三男</p> <p>【会員数】 516 名</p> <p>【ホームページ】 <a href="http://www.k-rouzan.net/">http://www.k-rouzan.net/</a></p>
活動内容	<p>2025年活動報告</p> <p>●「第46回丹沢クリーンハイク」について</p> <p>2025年5月24日水質調査は実施出来たが、雨天のためクリーンハイクは中止とした。神奈川県連盟の大きな取組の一つであり、多くの団体の協力が広がる中、苦渋の選択であった。</p> <p>その後、10月9日、大野山で「リベンジクリーンハイク」として実施。16名参加、20Kのゴミを収集。</p> <p>●会員の要求に応える 活動の幅を広げる。</p> <p>① 丹沢ボラネットの主催の講演会に参加し、他団体との交流が出来た。</p> <p>② 丹沢の植樹活動に引き続き参加。</p> <p>③ 身近な自然、里山歩きと自然観察。ガイドの案内でゆっくり自然について学べるのが好評である。</p> <p>さらに、丹沢に係る活動量を増やしていきたい。</p> <p>●東日本大震災の被災地支援活動</p> <p>2011年9月から15年間、支援活動を継続している。</p> <p>2025年5月、11月の2回、被災地宮城県石巻を訪問し、「石巻市民植樹」に参加し、交流を深め、多くのことを学ばせてもらっている。</p> <p>特に、原発事故被災の福島は復興の手が及んでいない所もまだあり、これからも現地視察、支援活動を続けていきたい。</p>
連絡先	<p>【担当者】 磯部 津輝子 (090-6104-4514)</p> <p>【住所】 〒221-0823 横浜市神奈川区二ツ谷町 1-11 神商連合会館 3F</p> <p>【電話】 045-534-5553 (新日本スポーツ連盟神奈川県連盟取次)</p> <p>【FAX】 045-534-5554</p> <p>【メール】 <a href="http://www.k-rouzan.net/">http://www.k-rouzan.net/</a></p>

団体名称	特定非営利活動法人 丹沢自然保護協会
設立目的	丹沢の自然保護に向けた活動と情報発信を通じて、丹沢の自然保護に寄与することを目的とする。 【設立年月日】 1960 年
団体情報	【代表者】 中村 道也 【会員数】 420名 【ホームページ】 丹沢自然保護協会 で検索してください
活動内容	<p>計画した事業は、天候により中止した1件を除き予定通り実施することができた。</p> <p><b>1. 緑の再生事業</b></p> <p>荒廃地や裸地に広葉樹等の植栽を行い、動物たちの生息域が孤立しない様、緑地帯で生息域をつなぐ緑のコリドー作りを行う。</p> <p>1) 春の植樹</p> <p>実施日：4月19日（日）菩提峠 参加者：183名 植樹数：1000本</p> <p>2) 秋の植樹</p> <p>実施日：10月25日（日）菩提峠 参加者：136名 植樹数：800本</p> <p>3) 下草刈り</p> <p>菩提峠植栽地は下草の生育が良く、苗が下草に埋没するのを防ぐため下草刈りを行た。 実施日：6月15日（日）菩提峠 参加者：両日累計48名 6月16日（月）菩提峠</p> <p><b>2. 森の学校</b></p> <p>子供たちの合宿による自然観察や実地体験を通して、楽しさの中に様々な形で自然環境について学ぶ。</p> <p>1) 春の教室</p> <p>「森と生き物たちのかかわり」を考えるをテーマに。 三の塔登山道沿いの植生回復の様子、植樹地の現状を見るときともに、サンショウウオやイワナなど溪流魚と森の関係について考えました。 実施日：3月31日～4月2日 参加者：45名</p> <p>2) 夏の教室</p> <p>「命のつながりを考える」をテーマに、水生昆虫を通して溪流と森を考えました。 実施日：8月12日～14日 参加者：46名</p> <p>3) 冬の教室</p> <p>私たちの丹沢、森と生き物たちをテーマに、自然の森と人工林を比較し、森と生き物たちの生活を考えました。 実施日：12月27日～29日 参加者：43名</p>

### 3. 丹沢フォーラム

丹沢の抱える問題や、行政事業として実施されている丹沢再生や水源林施業地を訪ね、担当職員、専門講師による解説を受け事業について学ぶ。

#### 1) 秋の丹沢フォーラム

水県税を活用する自然再生事業地を訪ねる

3年前に災害復旧工事で改修されたタライゴヤ沢沿いの登山道を経由し長尾尾根を札掛まで歩いて、自然再生事業の高標高域森林再生、土壌流出防止施工地と長尾尾根登山道の植生保護柵と登山道補修現場を見て、整備の在り方や今後の取り組みを考えました。

実施日：11月8日 参加者：23名

### 4. 丹沢を歩く

山頂を目指す登山に限らず、丹沢に精通する会員が様々な丹沢の魅力を案内し、併せて自然保護の啓発活動を行う。

#### 1) 西丹沢西沢を歩く

西沢の豪快な滝と沢崖に咲くケイワタバコを訪ねた。

実施日：6月28日 参加者：7名

#### 2) 冬枯れの三の塔尾根を歩く

大倉から三の塔尾根を歩き、三の塔山頂から富士山を眺望し菩提峠へ下山しました。

実施日：12月13日 参加者：4名

#### 3) 北尾根から郡界尾根を歩く

ヤビツ峠～大山山頂～北尾根を歩き途中からバリエーションコースの郡界尾根を札掛へ下山しました。

実施日：1月17日 参加者：16名

#### 4) 蓬尾根を歩く

三の塔山頂からヨモギ平へ下り、バリエーションコースで札掛へ下山しました。

実施日：2月14日 参加者：14名

各行事の詳細はホームページの行事のご案内から事業実施結果をご覧ください。

連絡先

【担当者】 山形 輝夫

【住所】

【電話】

【FAX】

【メール】 teruoyamagata@ybb, ne, jp

団体名称	NPO 法人 みろく山の会	
設立目的	健全かつ安全な登山、ハイキングに対する事業を行いスポーツの振興に寄与する 目的で設立 【設立年月日】 1983 年 4 月設立・2000 年 3 月に NPO 法人としての認証を受ける	
団体情報	【代表者】 北村 理 【会員数】 850 名 (2026. 3. 1 現在) 【ホームページ】 <a href="https://npo.mirokuyamanokai.org/">https://npo.mirokuyamanokai.org/</a>	
活動内容	<p>みろく山の会では、会山行を月 50～70 回、年間 700 回以上を計画しています。2024 年度は、計画回数 755 回、実施回数 628 回 (実施率 83%)、参加者数のべ 10,001 名の実績でした。</p> <p>山行は 190 名ほどのリーダーが計画を立て、初心者から経験者まで参加できるように、公園歩き、近郊の低山、アルプス等の縦走、ロングトレイル、クライミング、沢登り、雪山、スキー等を実施しています。また系統だった学習山行にも力を入れて、会員皆が自立した登山者を目指せるように工夫しています。</p> <p>当会の三大大行事としては、総会・清掃登山・みろく祭があります。その中で自然保護活動の一環として実施している「清掃登山活動」は会創設以来継続して取り組んでおります。今年度も 5 月 10 日に「第 43 回清掃登山」を大倉周辺で 12 コースを設定いたしましたが残念ながら雨天中止となりました。</p> <p>また、丹沢大山再生計画の第一期から携わっている大倉尾根の県民協働型登山道補修は、毎月 1 回 10 数名の会員の協力で登山道の老朽化した階段や水切りの補修を行って登山道の保全、登山者の安全確保に努めています。</p> <p>会行事として、今年度も、10 月 26 日に、三浦アルプスで 16 コースを設定し「2025 みろく祭り in 三浦」を計画いたしました。雨天中止になりました。</p> <p>他に、公開活動として一般から募集し「みろく公開登山スクール」を年 2 回実施し、座学をおこない、実技で、陣馬山山行を計画し、初歩知識や地図読みなど、登山者の技術向上を行いました。</p>	
連絡先	【担当者】 岩松美貴子 (自然保護部長)	○
	【住 所】 横浜市西区戸部本町 41-4 第 1 暁ビル 2F	○
	【電 話】 045-317-2369	○
	【F A X】 045-317-2365	○
	【メール】 <a href="mailto:miroku.shizenhogo.bu@gmail.com">miroku.shizenhogo.bu@gmail.com</a>	○

団体名称	NPO 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部 (WRV 神奈川支部)	
設立目的	野生動物の救護活動を通じ、神奈川県における自然環境保全に寄与することを目的とする 【設立年月日】 2003 年 7 月 5 日	
団体情報	【代表者】 皆川康雄 【会員数】 約 10 名 神奈川県野生動物リハビリテーター認定者：約 180 名 【ホームページ】 <a href="https://www.wrv-kanagawa.net/">https://www.wrv-kanagawa.net/</a>	
活動内容	<p>丹沢大山の自然環境保全に直接かかわる活動は特にはないが、県内の野生動物救護施設を中心に県内全域で以下の活動をしています</p> <p>※鳥インフルエンザの影響を受け、一部活動できないものもありました</p> <p>①傷病野生動物の救護と野生復帰 ②傷病野生動物の救護に従事できる専門的なボランティア『神奈川県野生動物リハビリテーター』を県の協力を得て養成及び資格認定 認定された野生動物リハビリテーターは、県自然環境保全センター、横浜市立動物園（野毛山・金沢・よこはま動物園ズーラシア）及び川崎市夢見ヶ崎動物公園にて活動 ③大学や専門学校を対象に野生動物リハビリテーター人材の育成のための専門家教育 ④次代を担う子どもたちに生命や自然の大切さ、人と野生動物との共生のための環境教育 ⑤県民に野生動物救護に対する理解を深めてもらうための普及啓発 ⑥救護原因の究明や予防対策のための調査研究</p>	
連絡先	【担当者】 皆川康雄	
	【住 所】 〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋 5-17-15 皆川ハイヴ 102	
	【電 話】 045-548-4744	
	【F A X】 045-548-4745	
	【メール】 kanagawa@wrvj.org	

団体名称	町田グラウス山の会	
設立目的	<p>登山を市民の健全なスポーツ・レクリエーションとして広め、登山の知識技術向上と安全山行を推進するとともに、山岳自然保護活動などを行う。</p> <p>【設立年月日】 1984年1月</p>	
団体情報	<p>【代表者】 松下真治</p> <p>【会員数】 170名</p> <p>【ホームページ】 <a href="http://machida-grouse.com/">http://machida-grouse.com/</a></p>	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹沢をはじめ、全国各地及び海外での登山活動を、年間約1200回行っている。内容はハイキングを主に、縦走・岩稜縦走、山スキー、沢登り、クライミング、海外登山、スケッチ山行、自然観察山行など多岐にわたり、四季を通じオールラウンドの活動をしている。</li> <li>・春秋には、一般市民に対して公開の楽しい山登り講習会を開き、登山の楽しさを知っていただく機会を設けている。 また毎年5月には、障がいを持つ方たちとの交流ハイクが恒例となっている。</li> <li>・10月には10日間余りのクリーンハイク期間を設け、会員各自がそれぞれの山行において登山道や周辺の清掃活動を行っている。</li> </ul>	
連絡先	【担当者】 森島真知子	
	【住 所】 東京都町田市山崎町 1356 シーアイハイツ E-902	
	【電 話】 090-3046-9085	
	【F A X】 042-813-3171 -	
	【メール】 ruriboshi_asahi@outlook.jp	

団体名称	NPO法人丹沢自然学校
設立目的	<p>丹沢地域に暮らす人々及び丹沢地域を訪問する人々に対して、相互の交流を促進すると共に、丹沢地域の自然、文化の普及、啓発に関する事業を行い、丹沢地域の自然環境及び地域文化の保護、保全に寄与することを目的とする。</p> <p>2009年4月23日NPO法人として設立(2007年3月3日任意団体として発足)</p>
団体情報	<p>【代表者】 理事長 五十嵐聡</p> <p>【会員数】 17名</p> <p>【ホームページ】 <a href="http://www.tes21.org">http://www.tes21.org</a></p>
活動内容	<p>私たちは西丹沢を中心に、丹沢の自然や文化を体験するエコツアー・プログラムを企画・実施しています。</p> <p>コロナ禍を経てやや活動が停滞しましたが、2023年度から看板プログラムであるシャワークライミングを、西丹沢ビジターセンターとの共催で再開。2025年度は2回実施することができました。また受託プログラムとして、上秦野地区の里山と伝統文化をめぐるエコツアーを1回開催しました。</p> <p>エコツアー以外の活動として、西丹沢の植生の状況を追跡調査する定点撮影調査を2010年度から行っており、丹沢の林床植生の衰退や回復の証拠をとらえることができています。2025年も10月に檜洞丸のつつじ新道で10か所の定点の撮影を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>2010年10月撮影 展望園地付近にて</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2025年10月撮影 ササは退行したが、植生は回復傾向</p> </div> </div> <p>また地域への貢献として、秦野市郊外の小学校・幼稚園で、水生生物・野生動物調査の出張授業を実施しています。場所はいずれも秦野市上地区にある柳川生きものの里です。</p> <p>幼稚園で2025年5月に実施した「生きものの里調査隊」では、親子を対象にして水生生物を捕獲調査しました。水生生物の採集方法「ガサガサ」のやり方を教え、採れた生物をスタッフが分類したところ、ドジョウ、ホトケドジョウ、アブラハヤ、アカハライモリ、サナエトンボのヤゴなどが採集できました。ホトケドジョウやアカハライモリが絶滅危惧種であることなどを解説し、この場所がいかに貴重な自然が残っているかを知る体験になったと思います。また捕獲した個体数は記録としており、経年変化を見ていきたいと考えています。</p>



小学校3年生を対象とした「上秦野野生動物調査隊」は、野生動物の痕跡探しをした後で、動物が活動しそうな場所を児童が考え、センサーカメラを仕掛けるという方法で、2016年度から毎年冬に実施しています。

今年度は2026年2月3日～13日に実施し、哺乳類ではシカ、タヌキ、イノシシ、ハクビシンが撮影されました。大雪の中でシカやタヌキがエサを探す様子や、イノシシが木に体をこすりつける様子などが撮影できました。これら調査結果は、秦野市環境保全課及び市の自然観察施設「くずはの家」にも提供しています。また柳川生きものの里に設置された掲示板に報告写真を掲示しています。



これらの活動を通じ、多くの方に丹沢の自然や文化を知っていただき、丹沢の自然のために行動する輪が広がっていくことを願っています。

連絡先

【担当者】

【住 所】 秦野市八沢 76-5

【電 話】 080-5528-1491

【F A X】 0463-57-2967

【メール】

団体名称	特定非営利活動法人 野生動物救護の会
設立目的	<p>野生動物の保護及び救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。</p> <p>モットーは「一頭一羽でも多くの野生復帰を目指して！」</p> <p>【設立年月日】平成18年10月2日</p>
団体情報	<p>【代表者】 渡辺 優子</p> <p>【会員数】 56名</p> <p>【ホームページ】 <a href="http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp">http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp</a></p>
活動内容	<p>基本は神奈川県自然環境保全センターにおける野生動物救護ボランティアとしての活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月～6月 ブナの森ギャラリー展示「羽根標本」「巣箱」</li> <li>・ 5月 12月会報誌「RUNNER」発行</li> <li>・ 6月 第18回 特定非営利活動法人野生動物救護の会 定期総会開催</li> <li>・ 8・1月 自然発見クラブ 開催</li> <li>・ 8月 野生動物救護展 参加</li> <li>・ 10～2月 はだのエコスクール 秦野市内の小学校等にて (アカデミーコスモス保育園、広畑小学校、若木保育園、堀川小学校、末広小学校)</li> <li>・ 10月 厚木市環境フェスティバル 展示参加</li> <li>・ 11月 秦野市市民の日・動物フェスティバル神奈川2025in いせはら 展示参加</li> <li>・ 2月 さがみ自然フォーラム 展示参加</li> </ul> <p>通年調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「足環プロジェクト」</li> <li>・ 秦野市立図書館衝突調査</li> <li>・ フクロウなどの巣箱調査</li> <li>・ 神奈川県自然環境保全センター野外施設及び秦野市での「野生動物痕跡調査」</li> </ul> <p>そのほか羽根標本作成などを行っている</p> <p>また、HPやブログ更新（随時）も行っている</p>



2025年8月 自然発見クラブ



2025年1月 自然発見クラブ



はだのエコスクール

連絡先

【担当者】 渡辺 優子

【住 所】 秦野市戸川 1086-4

【電 話】 0463-75-1830

【F A X】 0463-75-1830

【メール】 wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp

団体名称	丹沢環境推進会議	
設立目的	神奈川県内に於いて、丹沢大山地域の自然環境保護保全活動を行う。 2017年4月10日任意団体として設立	
団体情報	<b>【代表者】</b> 小林 昭五 <b>【会員数】</b> 10名 <b>【機関誌】</b> 丹沢環境推進会議だより 年3回発行	
活動内容	(1) 神奈川県内に於いて、丹沢大山地域の環境保護活動、啓発活動、 (2) 人材育成活動や自然体験活動を行う。12月1日 (3) 丹沢大山地域の環境美化活動を行った。 (4) 丹沢大山地域の環境検定問題づくりを行った。 (5) 目的達成のため他団体と協力連携してボランティア活動を行った。 水質調査、美化活動に協力した。 (6) 丹沢大山自然再生委員会と協力して啓発活動参加する。 4月20日(日) 秦野丹沢まつり 10月11日(土) ワールドフェスタ 2025 横浜 10月26日(日) あつぎ環境フェア (7) 丹沢研究(旧ヤビツ道調査) 26年1月24日	
	 	
	↑写真旧ヤビツ峠 26. 1. 24      ↑写真摩屋敷湧水 26. 1. 24	
連絡先	<b>【担当者】</b> 小林 昭五	
	<b>【住所】</b>	
	<b>【電話】</b>	
	<b>【FAX】</b>	
	<b>【メール】</b> a.kobayashi4246@nifty.com	

団体名称	一般社団法人 森里
設立目的	<p>私たち一般社団法人森里は『知ることからはじまる環境保全』を合言葉に、今、目の前にある自然やその地に強く生きる野生動物たち、そして私たちヒトとが共存できる社会の実現を目指し設立</p> <p>【設立年月日】 2022年7月</p>
団体情報	<p>【代表者】 小林 夏子</p> <p>【会員数】 18名</p> <p>【ホームページ】 <a href="https://mori-wildlife22.jimdofree.com/">https://mori-wildlife22.jimdofree.com/</a></p>
活動内容	<p>① 環境整備</p> <p>→ 厚木市七沢の里山づくりとして、草刈りや湿地整備を行いました</p>  <p>(写真1) 倒木を撤去している様子</p> <p>② 調査・研究</p> <p>→ 植物調査（毎月1回）、全国水生生物調査への参加（夏季）、自動撮影カメラ調査、鳥類調査（バンディング含む）、巣箱調査を実施しました。</p>  <p>(写真2) 巣箱で繁殖したフクロウの雛に足環を装着する様子</p> <p>③ 普及啓発</p> <p>→ 令和7年度 普及啓発活動の実績は以下となりました。</p> <p>2025年6月：夜のフクロウ子育て観察会（一般向け）</p> <p>7月：夏季鳥類調査見学会（他団体向け）</p> <p>8-9月：企画展示（自然環境保全センター）</p> <p>9月：あつぎの生態系講座①（厚木市委託事業）</p>

10月：シカ革ストラップづくりワークショップ（厚木市文化会館）  
 ジュニアエコスクール講師（厚木市依頼）  
 11月：厚木市環境フェア出展  
 ワークショップ講師（NPO 法人みんなのダンスフィールド）  
 2月：さがみ自然フォーラム出展  
 丹沢大山再生委員会パネリスト  
 冬季鳥類調査見学会（他団体向け）  
 3月：あつぎの生態系講座②（厚木市委託事業）  
 トレイルランニングイベント出展（一般社団法人 厚木大学）



(写真3) 開催した講習会の様子

連絡先	【担当者】 小林 夏子	
	【住 所】 神奈川県厚木市鳶尾 5-2-18	
	【電 話】	
	【F A X】	
	【メール】 mori.wildlife22@gmail.com	

## Ⅲ 世話人会の活動報告

# 令和7年度丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会の活動報告書

## 1 世話人会の開催

### (1) 臨時世話人会

実施日 令和7年4月12日(土)  
時 間 15:30~16:00  
場 所 自然環境保全センターレクチャールーム  
出席者 8名  
内 容 ① 講演会・交流会について  
② その他

### (2) 第1回

実施日 令和7年6月4日(水) 10:00~12:00  
場 所 自然環境保全センターレクチャールーム  
出席者 6名  
内 容 ① 令和7年度世話人会日程等計画、役割について  
② 丹沢ボラネット瓦版の発行、内容、役割分担等  
③ 講演会、交流会について  
④ その他  
・ ボラネット及び世話人会等の方向について  
・ 各世話人より報告等

### (3) 第2回

実施日 令和7年9月3日(水) 10:00~12:00  
場 所 自然環境保全センターワーキングルーム  
出席者 6人  
内 容 ① 講演会について  
② ボラネット会費納入の現状と対策について  
③ その他 瓦版124号等について

### (4) 第3回

実施日 令和7年12月3日(水) 10:00~12:00  
場 所 自然環境保全センターワーキングルーム  
出席者 5名  
内 容 ① 講演会・交流会の反省について  
② 令和8年度の行事事業計画について  
③ 世話人の改選について  
④ その他

(5) 第4回

- 実施日 令和8年3月4日(水) 10:00~12:00  
場 所 自然環境保全センターレクチャールーム  
出席者 5名  
内 容 ① 令和8年度事業計画(講演会・交流会)について  
② 令和8年度総会に向けて  
③ その他

2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから世話人会代表が各委員会へ出席

(1) 丹沢の緑を育む集い実行委員会関係

- 日 時 令和7年4月4日(金) 議案提出 4月18日(金)決議  
方 法 書面開催  
内 容 第1号議案 令和6年度事業報告について  
第2号議案 令和6年度決算報告について  
第3号議案 令和7年度事業計画について  
第4号議案 令和7年度予算について

(2) 丹沢大山自然再生委員会関係

ア 第69回(令和7年度)秦野丹沢まつり

- 日 時 令和7年4月20日(日)  
場 所 県立秦野戸川公園・秦野市立西中学校  
内 容 丹沢大山自然再生の普及啓発活動

イ 丹沢大山自然再生委員会 回幹事会

- 日 時 令和7年5月21日(水) 15:00~17:00  
方 法 オンライン会議  
内 容 ① 第25回丹沢大山自然再生委員会総会の資料について  
② その他 各専門部会の報告等

ウ 丹沢大山自然再生委員会総会

- 日 時 令和7年7月13日(日) 14:00~16:30  
場 所 神奈川県中小企業センタービル14階多目的ホール  
内 容 ① 令和6年度事業実績・決算について  
② 令和7年度事業計画・予算について  
③ 役員、幹事の改選について  
④ 各専門部会からの報告  
⑤ 令和7年度丹沢大山自然再生活動報告会について  
⑥ その他

エ 県民事業専門部会 普及啓発検討チーム

日 時 令和7年9月5日（金）10:00～12:00

場 所 県民センター304会議室

内 容 令和7年度秦野丹沢まつりへの出店結果について  
ワールドフェスタ横浜2025等への取組みについて  
副読本「私たちの暮らしと丹沢」の改訂について

オ ワールドフェスタ2025横浜

日 時 令和7年10月11日（土）

場 所 横浜山下公園

内 容 丹沢大山自然再生の普及啓発活動

カ 2025あつぎ環境フェア

日 時 令和7年10月26日（日）

場 所 厚木中央公園

内 容 丹沢大山自然再生の普及啓発活動

キ 2025年度丹沢大山自然再生活動報告会

日 時 令和8年2月15日（日）13:30～16:00

場 所 アミュあつぎ7階ミュージックルーム2（オンライン参加併用）

内 容 生物多様性保全を軸とした里山地域の再生に関する基調講演・話題提供、活動報告、パネルディスカッション

ク 県民事業専門部会 普及啓発検討チーム

日 時 令和8年3月25日（水）13:00～17:00

場 所 オンライン

内 容 ① 第70回秦野丹沢まつり関係への取り組み  
② 令和8年度イベントへの参加について  
③ その他

# 丹沢大山ボランティアネットワーク会則

## (名 称)

第1条 本組織は、丹沢大山ボランティアネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

## (目 的)

第2条 ネットワークは、丹沢大山で自然環境に関する活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り、行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に関する活動の推進を図ることを目的とする。

## (会 員)

第3条 会員は目的に賛同するボランティア団体により構成する。

2 入会及び退会は、所定の書面による届け出とする。

3 2年間続けて総会への欠席及び会費の未納入があった会員は、当該年度末をもって退会とする。

4 前項により退会した団体が、再度入会を希望する場合は、再入会時に未納分の会費を納付するものとする。

## (活動内容)

第4条 ネットワークは、次の活動を行う。

(1) ネットワークづくりの推進に必要な活動の実施

(2) 会員への情報提供および会員相互の情報交換の推進

(3) その他、ネットワークの目的に合致する活動

## (世話人会)

第5条 ネットワークの運営のため、世話人会を設ける。

2 世話人は総会によって選出し、10名程度とする。

3 世話人会に代表1名と、副代表2名を置き、選出された構成員の中から互選により定める。

4 世話人会は代表が招集し、議長となる。

5 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は、その職務を代行する。

6 世話人の任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。

7 世話人会は、必要に応じ開催する。

## (世話人会の職務)

第6条 世話人会は次の事項を行う。

(1) 会員間の連携の推進に必要な連絡、調整

(2) 各種情報の収集、分析

(3) 行政とのパートナーシップの推進のため必要な神奈川県自然環境保全センターとの協議

(4) 総会に付議する議案に関すること。

(5) その他、ネットワークの運営のため必要な事項

(総会)

- 第7条 総会は、世話人会代表が召集する。
- 2 総会は、年1回以上開催する。
  - 3 議事は、出席者の過半数をもって決定する。
  - 4 議決権は1団体で1票とする。

(事業年度)

- 第8条 事業年度は、4月1日から翌年3月31日迄とする。

(会費)

- 第9条 会費は毎年4月1日から翌年3月31日迄の1年間とし、年間2,000円とする。

(庶務)

- 第10条 丹沢大山ボランティアネットワークの必要とする費用は、会費および助成金、その他の収入をもってこれに充当する。
- 2 会計担当者を2名以内置く。
  - 3 監事を2名置き、会務および会計を監査する。
  - 4 ネットワークの庶務は、当分の間、神奈川県自然環境保全センターが協力して行う。

(その他)

- 第11条 この会則に定めるものの他、ネットワークの運営に必要な事項は、世話人会で協議して定める。

- 附 則
- 1 この会則は、平成14年8月4日から施行する。
  - 2 この会則は、平成15年4月5日から施行する。
  - 3 この会則は、平成19年4月8日から施行する。
  - 4 この会則は、平成20年4月6日から施行する。
  - 5 この会則は、平成31年4月20日から施行する。
  - 6 この会則は、令和6年4月20日から施行する。

# 丹沢大山ボランティアネットワーク入会届

年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク  
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークに入会しますので、入会届を提出します。

団 体 名  
住 所 〒  
代表者 氏名  
〃 住所 〒  
担当者 氏名  
(連絡先) 住所 〒  
〃 電話  
〃 ファックス  
〃 E-mail

## 団体の概要記入欄

設立時期	
会員数	
会報	<input type="checkbox"/> あり (名称: ) <input type="checkbox"/> なし
ホームページ	<input type="checkbox"/> あり (アドレス: ) <input type="checkbox"/> なし
保全活動に関するキーワード	<input type="checkbox"/> 美化活動 <input type="checkbox"/> 植樹、森林の育成 <input type="checkbox"/> 調査 (内容: ) <input type="checkbox"/> 普及啓発 (内容: ) <input type="checkbox"/> その他 (内容: )
活動の概要	主な活動地域 ( )
自由記載欄	
連絡方法	<input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファックス <input type="checkbox"/> E-mail

- 注 1 該当する□にチェックをしてください。  
2 内容については、丹沢大山保全活動ホームページに掲載します。

# 丹沢大山ボランティアネットワーク退会届

年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク  
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークを退会しますので、退会届を提出します。

団 体 名
住 所
代表者 氏名
〃 住所

退会理由：

編集・発行

神奈川県自然環境保全センター

厚木市七沢 6 5 7

電話 046-248-0323